

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2025 年 2 月 5 日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	国際日本学部
留学(渡航)した時の学年	3 年生
帰国年月日	2025 年 2 月 4 日
明治大学卒業予定年月	2026 年 3 月
留学先大学について	
留学先国	イギリス
留学先大学	ヨーク・セント・ジョン大学(日本語名) York St John University(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	英語/ 英語
留学期間	2024 年 9 月～2025 年 2 月
留学先大学で在籍した学年	年生
留学先の所属学部等	☐ 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 現地言語での名称: ☒ 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している ☐ その他:
形態	☐ 国立 ☒ 公立 ☐ 私立 ☐ その他:
学年暦 ※記入例: 1 学期: 4 月上旬～7 月下旬 2 学期: 9 月中旬～2 月上旬	1 学期: ～ 2 学期: 9 月下旬～2 月上旬 3 学期: ～ 4 学期: ～
学生数	約 8000 人
創立年	1841 年

留学費用			
留学費用項目	A 現地通貨 (ポンド) (1 現地通貨 = 195 円)	B 日本円	備考
授業料	0 ポンド	円	大学間協定留学のため
宿舍費	2375 ポンド	円	
食費	1120 ポンド	円	224 ポンド×5 か月
図書費	9 ポンド	円	現地で人気の小説 1 冊
学用品費	18 ポンド	円	ノート 3 冊、ホチキス
携帯・インターネット費	50 ポンド	円	giffgaff10 ポンド×5 か月
現地交通費	23 ポンド	円	ヨーク、ロンドン市内のバス(☑大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	0 ポンド	0 円	入場料無料の博物館に行くようにしていた
旅費(留学中)	225 ポンド	円	シェフィールド、ロンドンへの電車代等
被服費	144 ポンド	円	部屋着 2 セット、カーディガン、スリッパ等
医療費	15 ポンド	円	ドラッグストアで購入したのど飴
保険費		46,800 円	形態: 明治大学で加入した保険
渡航旅費	0 ポンド	0 円	航空券は父のマイルで購入
ビザ申請費	0 ポンド	0 円	イギリスへの 6 か月以内の滞在はビザ不要
雑費	106 ポンド	円	食器、ヒーター、キッチン用品、布団代
その他		円	
その他		円	
合計 ※現地通貨 および 円	4085 ポンド (=796,575 円)	46800 円	
総計(A+B) ※円		843,375 円	

※現地通貨で支払ったものは「A 現地通貨」の欄に、日本円で支払ったものは「B 日本円」の欄に記入し、総計も記入してください。

※現地通貨名、現地通貨と円の為替レートも必ず記入してください。

渡航関連

渡航経路

往路 出発地：羽田 目的地：ロンドン(ヒースロー) 経由地：フランクフルト

復路 出発地：ロンドン(ヒースロー) 目的地：羽田 経由地：なし

渡航費用

- ① 往復チケットを購入した場合
航空会社：全日空
料金：0 円(父が自身のマイルで購入してくれたため)
- ② 片道ずつチケットを購入した場合
往路 航空会社： 料金：
復路 航空会社： 料金： ∴合計：

航空券購入方法

- ☐ 旅行代理店(店名：)
- ☐ インターネット(サイト名：)
- ☒ その他(全日空のマイルを持っていた父に手配をお願いした。)

滞在形態関連

1) 種類(留学中の滞在先)(例：アパート、大学の宿舎等)

- ☒ 学生寮(寮の名前：Limes Court) ☐ アパート ☐ ホームステイ

2) 部屋の形態

- ☒ 個室 ☐ 相部屋(同居人数)

3) 共有部分

- ☒ バス ☒ トイレ ☐ キッチン(☒ 自炊可 ☐ 自炊不可)

4) 住居を探した方法：

6 月ごろに大学からの案内がメールで届いたので、その指示に従って手続きをした。

5) 感想：(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

Limes Court は大学から徒歩 20 分強の位置にある、比較的静かな寮だった。大学から割と離れているものの、慣れてしまえば特に問題はない。寮で飼われている猫がいて、かわいかった。しかし、入寮当初は予想以上に元から準備されている生活用品(トイレットペーパー、食器、キッチン用品、バスタオル等)が少なかったり、ヒーターが動かなかったり、照明がつかなくなったりと様々な問題に直面した。日本から用意できる生活用品はなるべく持参し、足りないものは現地到着後に早めに入手すること、寮の設備で不具合が生じたときはすぐに大学の Repairs Team にメールすることをお勧めする。イギリスはどのようなサービスであっても、対応が日本よりかなり遅いので最大限迅速に連絡し、連絡しても返信がない場合は、電話で辛抱強く催促することが大切だ。

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

☐ なし

☒ あり (治療を受けた場所: Stonegate Medical Clinic, Nuffield Health York Hospital)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

☐ なし

☒ あり (問題の内容や相談した人等: 寮の隣の部屋に泊まっている韓国人のフラットメイトから朝の洗面所の使用を控えてもらうよう言われ、寮のスタッフに相談。相談後は朝も洗面所を使うことができるようになった。)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

外務省の在留届を提出することで、外務省からのメールを通じて情報を得ていた。また、BBCのイギリス向けのラジオ番組を聞いていた。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地で利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWiFi接続が可能であったので、寮で使えない時はカフェに行った。)

寮のインターネットは繋がりにくいことがあったが、大学は繋がりがやすかった。しかし、一度大学全体のWifiシステムが使用不可能になり、授業資料等にアクセスできないことがあった。5時間程度で復旧したため、大きな問題にはならなかった。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

Revolut という金融アプリと、そのデビットカードを使用していた。海外送金手数料が無料等、非常に便利なサービスだからだ。しかし、現金は100ポンド程度持参するべき。他の国の留学生と銀行送金で割り勘が非常に難しく、現金の方が簡単のため。また、キャッシュレスが進んでいるイギリスだが、タクシーによっては現金支払いのみ、という場合があるため。

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

鮭フレークや梅干しは恋しくなった。鮭フレークは祖父母から送ってもらったが、梅干しは生ものなので送ったり持ち込んだりできない。そのため、梅味のふりかけを持っていくと良いかもしれない。他にも、レトルトの味噌汁や米、きな粉、餅もあると良い。

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
まだ成績が出ていないので不明です 単位	☐ 単位 ☐ 単位認定の申請はしません(理由:)
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限	
☒ 出発前 ☐ 出発後 ☐ 派遣先大学の事務室 ☒ オンライン ☐ メール ☐ その他() ☒ 履修の制限があった: 履修できる授業の数は 3 つまで	
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Leading Global Business	主要なグローバルビジネス
科目設置学部・研究科	York Business School
履修期間	1 学期間
単位数	20
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	レクチャー、セミナーが週に 1 回ずつ (チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 90 分が 2 回
担当教授	Kateryna Minakova
授業内容	グローバルビジネスの基本的な理論を学ぶ。セミナーでは事前に与えられた記事や論文を読み、授業で提示された質問にグループで話し合い、発表する。
試験・課題等	期末課題: グローバルビジネスを 1 つ取り上げ、その企業がなぜ成長できたのかについての 3500 字のレポート
感想を自由記入	留学生が多い授業だったのでクラスメイトと仲が良くなった。リーディング量が多かったが事前に読んできている生徒はほとんどいなかった。期末課題は非常に苦労した。3500 字という字数自体が多かったし、論理的な構成を練ることが難しかった。

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)	
Introduction to War Studies		戦争学入門	
科目設置学部・研究科	School of Humanities		
履修期間	1 学期間		
単位数	20		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	レクチャー、セミナーが週に 1 回ずつ (チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1 週間に 90 分が 2 回		
担当教授	Ian Horwood		
授業内容	戦争学の基本的な理論を学ぶ。セミナーでは事前に与えられた論文に基づき、授業で提示された質問にグループで話し合い、発表する。		
試験・課題等	期末課題: 3000 字のポートフォリオ		
感想を自由記入	戦争に関する分野であったせいか、男子生徒が多めだった。授業期間最後の 2 週間は戦争ゲーム(War Gaming)という戦争をシミュレーションするためのボードゲームを体験し、戦時に指揮官がどのように判断を下すのかを学ぶことができた。		

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)	
Applied Phonetics and Phonology		応用音声学と音韻論	
科目設置学部・研究科	School of Education, Language and Psychology		
履修期間	1 学期間		
単位数	20		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	ワークショップが週に 1 回 (チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1 週間に 180 分が 1 回		
担当教授	Nikki Swift		
授業内容	音声学の基本的な理論やその応用方法を学ぶ。教授が提示した音声学の問題を授業時間内で解いていく。ワークショップ型の授業だったため、ピザやお菓子、フライドポテトなど食べ物持ち込み可で、授業中も食べる事ができた。		
試験・課題等	第 1～8 週は毎週オンラインで小テストがある。 中間課題: 日本語の音素(phoneme)の分析と連続発音の転写(Connected Speech Transcription) 期末課題: 幼児の英語発音の転写、分析		
感想を自由記入	履修した授業のうち、この授業だけが 2 年生対象だったため、難易度が最も高かった。しかし、教授が非常に優しく面倒見の良い方だったため、授業についていくことができた。課題もレポートのように構成を練ったり字数を稼いだりする必要がなく、最も時間的な負担が少なかった。		

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記2以降は記入不要)

☒就職 ☐進学 ☐未定 ☐その他:

1) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。
内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。
就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

まだ明確に志望業界が定まっていないため、今後絞っていく予定。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。
(例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。)
就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。
ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。
就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

帰国が3年生の2月だったため、就職活動に関して不安は残る。しかし、留学をすることで先の見通せない状況に対応する力は高まったし、有意義な時間を過ごすことができた。留学を通じて身につけた力を就職でも活かしたい。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先確保、留学中の中間試験・期末試験、その他イベント等)

留学開始年の 前年	1 月 ～ 3 月	IELTS の勉強
	4 月 ～ 7 月	IELTS 初めての受験でバンドスコア 6.5 取得
	8 月 ～ 9 月	IELTS の勉強
	10 月 ～ 12 月	IELTS 2 回目受験でバンドスコア 7.0 取得、学内選考
留学開始年	1 月 ～ 3 月	出願
	4 月 ～ 7 月	履修登録
	8 月 ～ 9 月	入寮手続き
	10 月 ～ 12 月	留学開始
留学/帰国年	1 月 ～ 3 月	期末課題、帰国
	4 月 ～ 7 月	
	8 月 ～ 9 月	
	10 月 ～ 12 月	

留学を志す学生へのアドバイス

※ これから留学を志す学生へ、この留学先国・大学を選んだ理由、留学生活全般等について、アドバイスを記入してください。

私がヨーク・セント・ジョン大学を選んだ理由は、イギリス英語を話し、書くことができるようになりたいと考えていたからです。過去の留学報告書を読む中で、確実にイギリス英語を学ぶことができる可能性が最も高いと感じたのがヨーク・セント・ジョン大学でした。大学1年生の冬は、世界的にも有名なシェフィールド大学やマンチェスター大学に興味をもっていたこと、また、イギリスに留学したいと思っており、選考を有利に進めたいという考えから、IELTS でより高いスコアを取得することに力を注いでました。しかし、自分が最も興味のある授業を実施していたのが、ヨーク・セント・ジョン大学だったため、ヨーク・セント・ジョン大学を第1希望、他のイギリスの大学を第2～4希望として応募しました。

無事第1希望が通りヨークでの生活が始まると、様々な壁にぶつかりました。体調不良が続いたり、授業のリーディングやレポートに苦戦したり、物価高で買いたいものを我慢したりと、なかなか思うようにはいきませんでした。明治大学国際連携事務室の方や保険会社の方に ZOOM や電話で相談にのってもらったり、現地の病院を利用したり、教授のオフィスアワーに行き質問したり、少しずつ対処していきました。もともと体力があまりないこともあり、帰国前も度々風邪をひくなど、最後まで体調面で不安はありました。しかし、深刻な病気にかかることはなく、異国の地でも何とか自力で生活続けることができました。

多くの困難に直面しましたが、ヨークに留学して良かったと留学を振り返った今しみじみと感じています。ヨークはロンドンから電車で2時間ほどの距離にある、比較的小規模な街です。City Centre(市の中心部)にはおしゃれな店が多く、にぎわっています。治安も非常に良いです。韓国人の留学生の友人はヨークであれば深夜に外出しても安全と言っていました、おススメはしません。River OuseとRiver Fossの2つの河川が流れていて、晴れた日に散歩をするととても気持ちが良いです。授業のレポートや通院で忙しく、あまりヨーク内を観光できなかったのが少し心残りなので、今度は留学ではなく、旅行としてヨークを訪れたいです。

留学を通じて、先の見通せない状況に一人に対応する力が高まったと感じています。医師の診察を受けたり教授に相談したりといった、他人に助けを求める重要性を学びました。また、慣れない状況であっても、自分の好きなアニメを見る、美味しいものを食べる、友人と話す等、現実逃避をすることで深刻に考えすぎないようにすることも大事だと思いました。予想以上に試練の多い留学ではありましたが、異国という環境で途中帰国することなく、最後まで留学生生活を全うできたのは自信につながっています。

英語学習やイギリスでの生活について質問がある方は、私で良ければメールで連絡してください。特にヨーク・セント・ジョン大学のことや、イギリスの病院事情、診察を受ける流れに関しては詳細に教えることができると思います。大変なことも多い留学ですが、楽しいこともたくさんあります。是非素敵な留学生活を送ってください！